

第3次 津山地域づくり計画

（令和7年度～令和11年度）

～静かな中に活力ある町「つやま」～



津山地域振興会

津山地域づくり審議会委員会

はじめに

津山町は、昭和29年11月3日に、柳津町と横山村が合併した町で平成17年4月1日に登米郡8町と合併して登米市となりました。しかし、50年続いた津山町としての営みはこれからも未来永劫、永遠に続くものです。また津山町は146haの耕地の水没と400戸にのぼる家屋敷の移転を余儀なくされた北上川の改修、街区と山林の大半を焼失した横山大火、幾度となく見舞われた南沢川の洪水を経験しましたが、この苦難の時代を住民一丸となって乗り越えてきた歴史のある町でもあります。今回計画を策定するにあたり、津山町制25年にあたる昭和54年11月3日に制定された町民憲章をもとに今後5年間の地域づくり計画を定めるものです。

- わたくしたちは、健康につとめ、やすらぎのある
住みよい町 をつくります
- わたくしたちは、人の和をとうとび、心ふれあう
明るい町 をめざします
- わたくしたちは、教養をたかめ、心豊かなすぐれた
文化の町 をそだてます
- わたくしたちは、働くことをよろこび、活力みなぎる
豊かな町 をきづきます
- わたくしたちは、美しい自然を大切にし、調和のとれた
緑の町 をまもります

令和7年3月
津山地域振興会長

現 状

人口の減少・少子高齢社会

- ❖少子高齢化が進み、特に少子化が加速している
 - ❖町内会などの団体の役員のなり手が少ない
 - ❖農業・林業すべてにおいて後継者が少ない
 - ❖コミュニティ事業に人が集まらない
 - ❖商店が近隣の大型店舗の進出により縮小している
 - ❖コンビニがない
 - ❖子どもが減少し、柳津小学校と横山小学校が統合された
 - ❖中学校では単独で部活が成立しない状況となっている
 - ❖ボランティアの後継者が育たない
 - ❖集える場所が少ない
 - ❖三陸道の全線開通により観光客が減少した
 - ❖行政区の人口にばらつきがある
 - ❖行事に参加できない行政区が発生している
 - ❖自然災害が多発している
- などなど

第1章 序論

1 計画の策定にあたって

(1) 計画策定の趣旨

登米市は、平成24年3月に「登米市まちづくり基本条例」を制定し、「地域のことは地域で考え、地域自らの責任によってきめる」という方針を打ち出し、津山町は平成27年3月に第1次「津山地域づくり計画」を策定しました。また、5年が経過し、令和2年度に第2次「津山地域づくり計画書」を策定しました。さらに、5年経過する今年度において、第3次「津山地域づくり計画書」を策定するものです。

(2) 計画の構成

この津山地域づくり計画書は、本章「序論」のほか地域づくりを行っていくうえでの「基本構想」と、それを実現するための「基本計画」、「行動計画」の4つの章で構成します。

(3) 計画の期間

令和7年度から令和11年度までの5年間とします。ただし、ニーズに合わせ見直しを行うこととします。

(4) その他

基本計画の主要施策（行動計画）等については、毎年見直しを行い、常に住民ニーズや、ライフスタイルに対応した計画とします。

2 津山町の概況（地域カルテ）

2 津山町の概況（地域カルテ）

地域の概要	
地域名	登米市津山地区
位置図	 <div> <p>①お食事みうら・ 懐石料理 三浦屋</p> <p>②家庭料理リーちゃん</p> <p>③津山納豆製造所</p> <p>④野村製麩所</p> <p>⑤寿司義</p> <p>⑥（株）山形屋商店</p> <p>⑦清水端（すずばた）</p> <p>⑧柳津虚空蔵尊</p> <p>⑨道の駅津山 もくもくランド</p> <p>⑩木里口</p> </div> <div> <p>⑪津山食堂</p> <p>⑫居酒屋・食事処 さ蔵</p> <p>⑬フォレストウィンド 津山</p> <p>⑭横山不動尊</p> </div>
地域マップ	

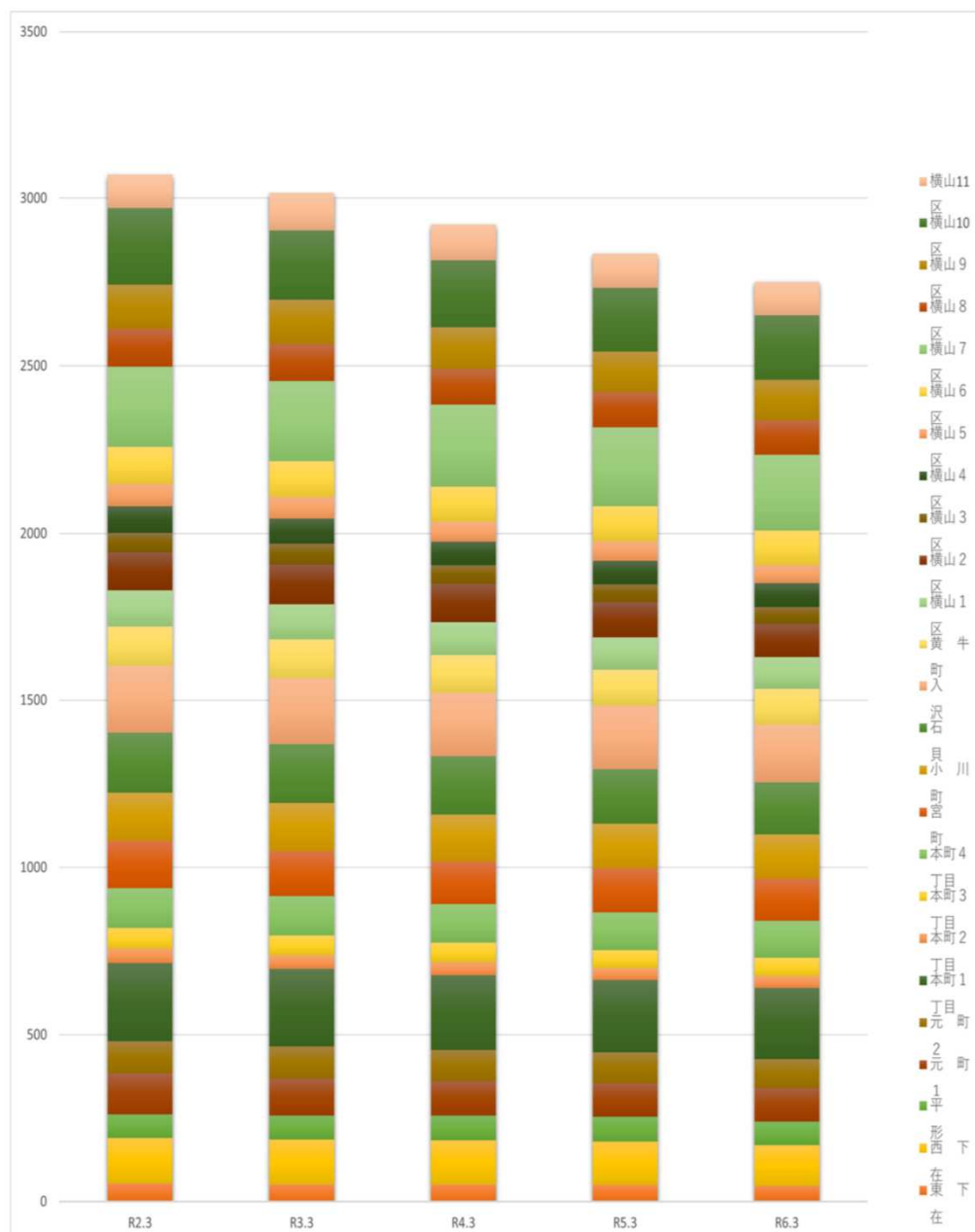
運営組織	<p>団体名：津山地域振興会</p> <p>事務局：登米市津山町横山字本町 24 津山公民館</p> <p>TEL：0225-69-2234 FAX：0225-69-2203</p> <p>登米市津山公民館</p> <p>ホームページ：https://tome-c.ed.jp/cmc/fschedule/tsuyama-cc</p> <p>津山宝発掘ページ（登米市津山公民館）</p> <p>フェイスブック：https://www.facebook.com/profile.php?id=61564875506534</p> <p>登米市津山公民館</p> <p>YouTube チャンネル</p> <p>https://www.youtube.com/channel/UCYl3rV15idcoz7dg2SUE2fw</p> <p>津山宝発掘ページ</p> <p>ホームページ：https://tsuyama-kou.jimdofree.com/</p> <div data-bbox="1161 555 1362 1438">  <p>登米市津山公民館</p>  <p>津山宝発掘ページ</p>  <p>津山公民館YouTubeチャンネル</p>  <p>津山宝発掘HP</p> </div>
地域構成	<p>行政区数：25 行政区</p> <p>行政区名：東下在、西下在、平形、元町 1、元町 2、本町 1 丁目、 本町 2 丁目、本町 3 丁目、本町 4 丁目、宮町、小川町、 石貝、入沢、黄牛町、</p> <p>横山 1 区、横山 2 区、横山 3 区、横山 4 区、横山 5 区、 横山 6 区、横山 7 区、横山 8 区、横山 9 区、横山 10 区、 横山 11 区</p>

地域内人口データ

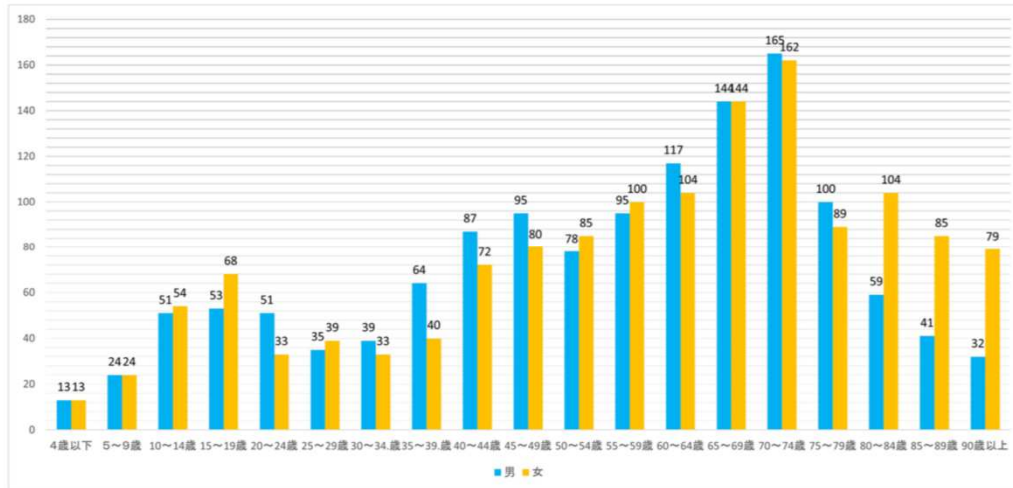
■人口・世帯推移（令和2年3月～令和6年3月）

		R2・3	R3・3	R4・3	R5・3	R6・3
東 下 在	世帯数	19	17	17	18	17
	人口	54	50	50	49	47
西 下 在	世帯数	43	42	43	43	41
	人口	135	135	132	130	121
平 形	世帯数	27	27	26	26	27
	人口	70	71	74	73	70
元 町 1	世帯数	40	36	35	36	36
	人口	125	113	104	103	102
元 町 2	世帯数	32	32	32	32	31
	人口	97	96	94	92	87
本町1丁目	世帯数	77	78	78	79	80
	人口	234	232	224	216	213
本町2丁目	世帯数	14	14	13	12	12
	人口	42	40	39	36	35
本町3丁目	世帯数	20	20	20	20	20
	人口	62	60	58	54	55
本町4丁目	世帯数	42	42	42	42	43
	人口	119	117	115	113	111
宮 町	世帯数	67	63	59	60	58
	人口	142	135	128	132	126
小 川 町	世帯数	56	56	56	55	53
	人口	143	143	140	133	131
石 貝	世帯数	54	54	54	53	53
	人口	180	176	175	162	156
入 沢	世帯数	63	62	61	62	63
	人口	199	198	188	190	173
黄 牛 町	世帯数	38	38	38	37	38
	人口	121	118	114	108	107
横山1区	世帯数	32	32	32	32	32
	人口	108	105	101	99	95
横山2区	世帯数	41	43	43	41	42
	人口	112	118	114	105	100
横山3区	世帯数	25	26	24	24	23
	人口	59	63	55	53	52
横山4区	世帯数	23	22	21	21	20
	人口	79	74	71	71	71
横山5区	世帯数	25	25	24	24	23
	人口	67	65	59	58	54
横山6区	世帯数	36	35	36	38	38
	人口	110	107	105	104	103
横山7区	世帯数	93	90	94	93	94
	人口	239	239	244	236	226
横山8区	世帯数	39	39	39	38	37
	人口	113	110	106	104	102
横山9区	世帯数	43	43	41	41	42
	人口	132	132	125	121	121
横山10区	世帯数	71	70	69	65	66
	人口	228	207	199	190	192
横山11区	世帯数	38	40	40	37	38
	人口	104	111	108	103	101
計	世帯数	1058	1046	1037	1029	1027
	人口	3074	3015	2922	2835	2751

■行政区別の人口推移（令和2年～令和6年）



■年代別男女比の人口（令和6年3月現在）



■人口推移・予測

【データ】2000年～2020年は国勢調査値, 2025年～2040年はIHOE【人と組織と地球のための国際研究所】の推計式による予測値 ※過去の津山地区人口推移平均値を基準

津山地区 これまで20年間の人口推移とこれから20年間の予測値									
	国勢調査値					予測値			
津山地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
人口計	4,380	4,007	3,714	3,674	3,025	2,621	2,242	1,907	1,609
			(706人減)				(1416人減)		
0～19歳	907	718	570	517	389	254	140	68	35
							(90%減)		
20～39歳	768	647	613	559	369	298	244	212	169
40～64歳	1,454	1,376	1,305	1,308	1,003	863	735	632	514
65歳以上	1,251	1,266	1,226	1,288	1,263	1,207	1,122	995	891
高齢化率	28.6%	31.6%	33.0%	35.1%	41.8%	46.0%	50.1%	52.2%	55.4%
65～79歳	930	891	778	757	774	781	724	566	480
80歳以上	321	375	448	531	489	425	398	429	411
65歳以上の構成が大きく変化									

予測値の計算式参照：IHOE【人と組織と地球のための国際研究所】 作成：とめ市民活動プラザ

地域内の個別状況				
No.	項 目	現 状	特 徴 (良いところ)	課 題 (困っていることなど)
1	地域の特徴	スギの産地として有名 町名は、柳津（やないづ） と横山（よこやま）の合成 地名、北上川の下流に位置 し、木材と木工の町 製材所が複数あり、自然と 歴史、そして木の文化が融 合した地域	恵まれた自然環 境 地域の潜在資源 はいっぱいあり ます	・ 若者離れ ・ 地域がさびれるば かり ・ 横山地区は幼稚 園、小学校もなくな りバスで通うようにな ったので子供の声 もなくなり、どん どん衰退している ・ 時が止まったよう に、お店が減り、賑 の機会などが減って いる
2	主な施設	・ 津山総合支所 ・ 道の駅津山もくもくラン ド		集客の問題
3	地域内の 自治施設	・ 津山公民館 ・ 津山老人福祉センター ・ 市営住宅 ・ 津山小学校 ・ 津山中学校		高齢化、少子化が進 む中で高齢者に対す るサービスが足りな くなる恐れがある
4	指定避難所 安全対策	・ 津山小学校 ・ 津山林業総合センター ・ 津山若者総合体育館 ・ 津山運動広場 ・ 津山老人福祉センター ・ ※津山中学校 ・ ※津山公民館	行政区ごとに自 主防災用具を設 置している	※洪水時に浸水する （浸水想定区域 内）、又は土砂災害 の危険があるため 地震時のみ避難可能 な避難場所

5	連携している団体	・ 社会福祉法人清山会	・ 特別養護老人ホーム柳風園 ・ 津山デイサービスセンター ・ 清山会ケアプランセンター ・ つやま杉の子こども園 ・ 地域包括支援センター	老人人口比県下のランクに入っている
		・ 登米市社会福祉協議会	・ 津山支所	
6	地域環境	自然が豊かで風光明媚であるが、雇用の場が少なく人口が急激に減少している過疎地域	恵まれた自然環境 大萱沢溪流公園は通年通してキャンパーに人気	魅力のある就業場所がない 病院や商店、飲食店などが少なく生活するのに不便
7	自然環境	面積のおよそ 82%を森林が占める 水と緑の自然が豊かな町 恵まれた自然環境	横山にある横山不動尊境内の池は、湧水なので四季を通じて水温に変化が少なく、多数のウグイが生息、不動尊のお使いとされ、参詣者から愛護されている	大雨による水害が起き、道路が寸断されると孤立する地域が出てくる
8	地域交通	・ 登米市住民バス ・ 気仙沼線 BRT と鉄路（バス高速輸送システム）	特になし	タクシー会社が少ない

9	歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木安右衛門解剖記念碑 肝臓ジストマの病原発見の端を尽くし当時の医学予防に絶大な貢献をした ・伊達政宗公の手討ちを受けた実弟・小次郎の墓が建っている ・三畳紀の稲井層群から恐竜時代より古いイナイリュウの化石が発見された発見地がある ・金峰山福田寺 旧仙台藩柳津で幕藩体制時代の最後の殿様を勤めた布施備前と家臣達の墓がある ・寺倉の板碑群 寺倉から大畑に通じる町道造成の際、袋屋敷跡と思われる地から南北朝期末の板碑12基が発掘された 	<ul style="list-style-type: none"> ・横山火伏せの獅子舞 ・津山創作太鼓・つやま打囃子保存会 ・柳津虚空蔵尊 ・大徳寺（横山不動尊） 	<ul style="list-style-type: none"> ・イナイリュウの化石は戦時中、行方不明となる 
10	特産品 (名物・名産品)	<ul style="list-style-type: none"> ・矢羽木工品 ・ワサビ ・油麩 ・納豆 ・津山杉 ・木炭 	HP を活用しネット販売もしている	

第2章 基本構想

1 地域づくりの基本理念

昭和54年11月3日に制定された町民憲章の理念である。

わたくしたちは、恵まれた自然と誇りある歴史や伝統を守り、「静かな中に活力ある町」づくりを目指すことを基本理念とします。

2 地域づくりの基本方向

基本理念として掲げた「静かな中に活力ある町」づくりを尊重しながら、方向性を具現化するため、次の5つのキーワードを展開したまちづくりを推進します。

静
か
な
中
に
活
力
あ
る
町

やすらぎのある住みよい地域づくり（福祉の充実）

心ふれあう明るい地域づくり（健康づくりの推進）

心豊かなすぐれた文化の地域づくり（文化の振興）

活力みなぎる豊かな地域づくり（教育の充実）

調和のとれた緑の地域づくり（環境の整備・その他）

第3章 津山地区地域づくり基本計画

1 やすらぎのある住みよい地域づくり（福祉の充実）

高齢化率が44%と、少子化が大きく進み超高齢化状態となっていることに鑑み、高齢者福祉・児童福祉の充実を図ります。

1) 高齢者福祉の充実

・高齢者の生きがいづくりを推進します。

2) 児童福祉の充実

・子どもたちの健全な育成を推進します。

2 心ふれあう明るい地域づくり（健康づくりの推進）

地域住民自らの主体的な取り組みのもと、一人ひとりが生活の質を高めて、健康で暮らせる（健康寿命）期間を長く維持できるよう、健康づくりの推進をします。

1) 健康づくりの推進

・スポーツを通じた健康づくりを推進します。

3 心豊かなすぐれた文化の地域づくり（文化の振興）

芸術・文化は、先人の文化を継承し、ふれあいながら、地域住民一人ひとりが豊かな感性と情操を培いうるおいとやすらぎのある生活の実現を目指し、芸術・文化の振興を推進します。

1) 芸術・文化の振興

・ふれあいのある地域づくりを推進するため芸術・文化の振興を推進します。

4 活力みなぎる豊かな地域づくり（教育の充実）

地域住民に学習活動の機会が与えられるよう、公民館等を中心に青少年・成人・女性・高齢者等のライフステージごとに多様な講座を開設します。

1) 公民館講座で教育の充実

・生涯学習の関心は深まっているものの、人口減少や学習ニーズの多様化により各種講座等の参加者が減少しており、その時代にあった事業展開を推進します。

5 調和のとれた緑の地域づくり（環境の整備・観光PR・その他）

津山杉の美しい緑や、北上川の清らかな水は、生活にうるおいとやすらぎを与えてくれ、暮らしの中に香ってくれます。このかけがえのない自然を次世代へ継承していくため環境整備を推進していきます。

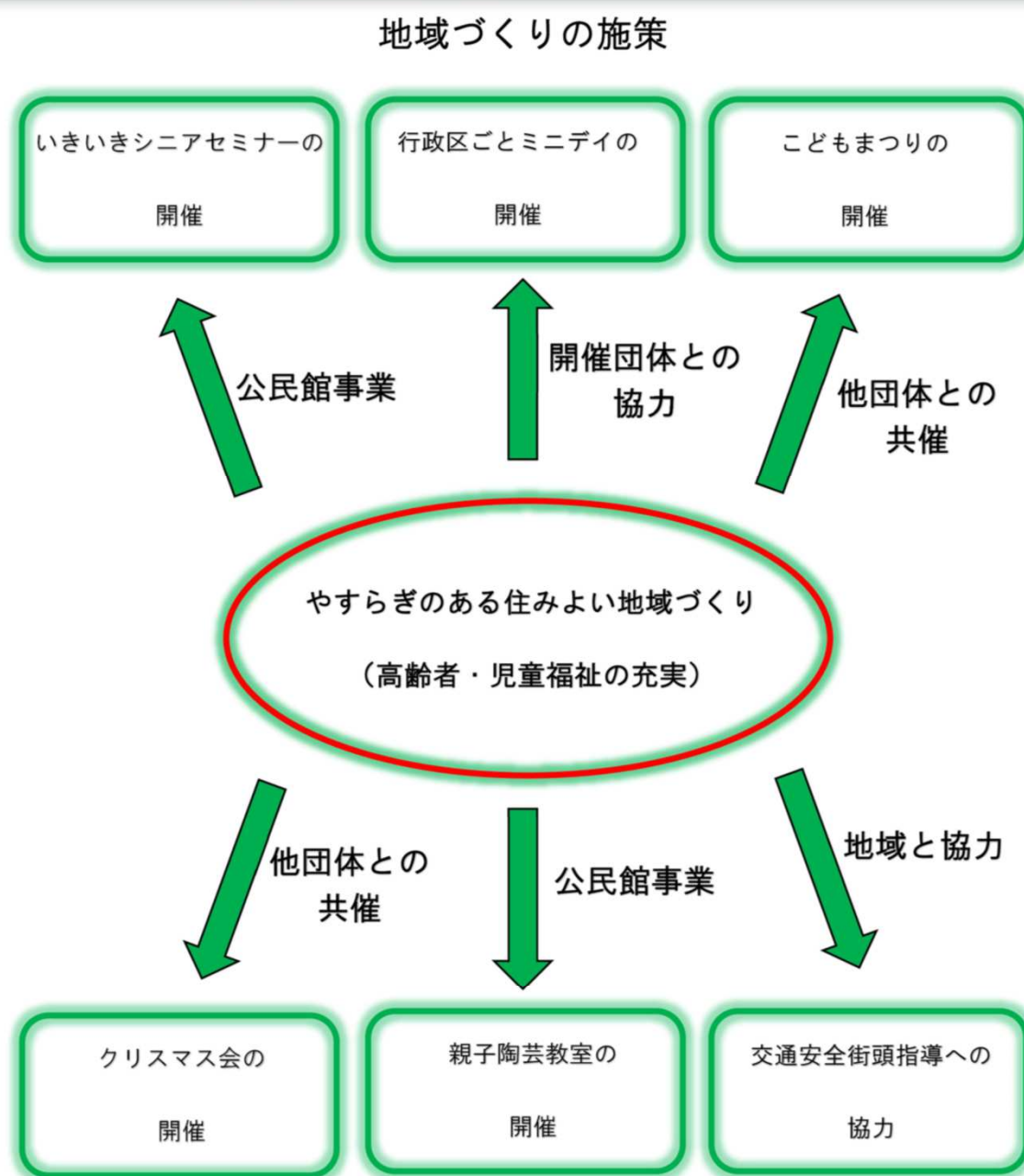
1) 環境整備の推進

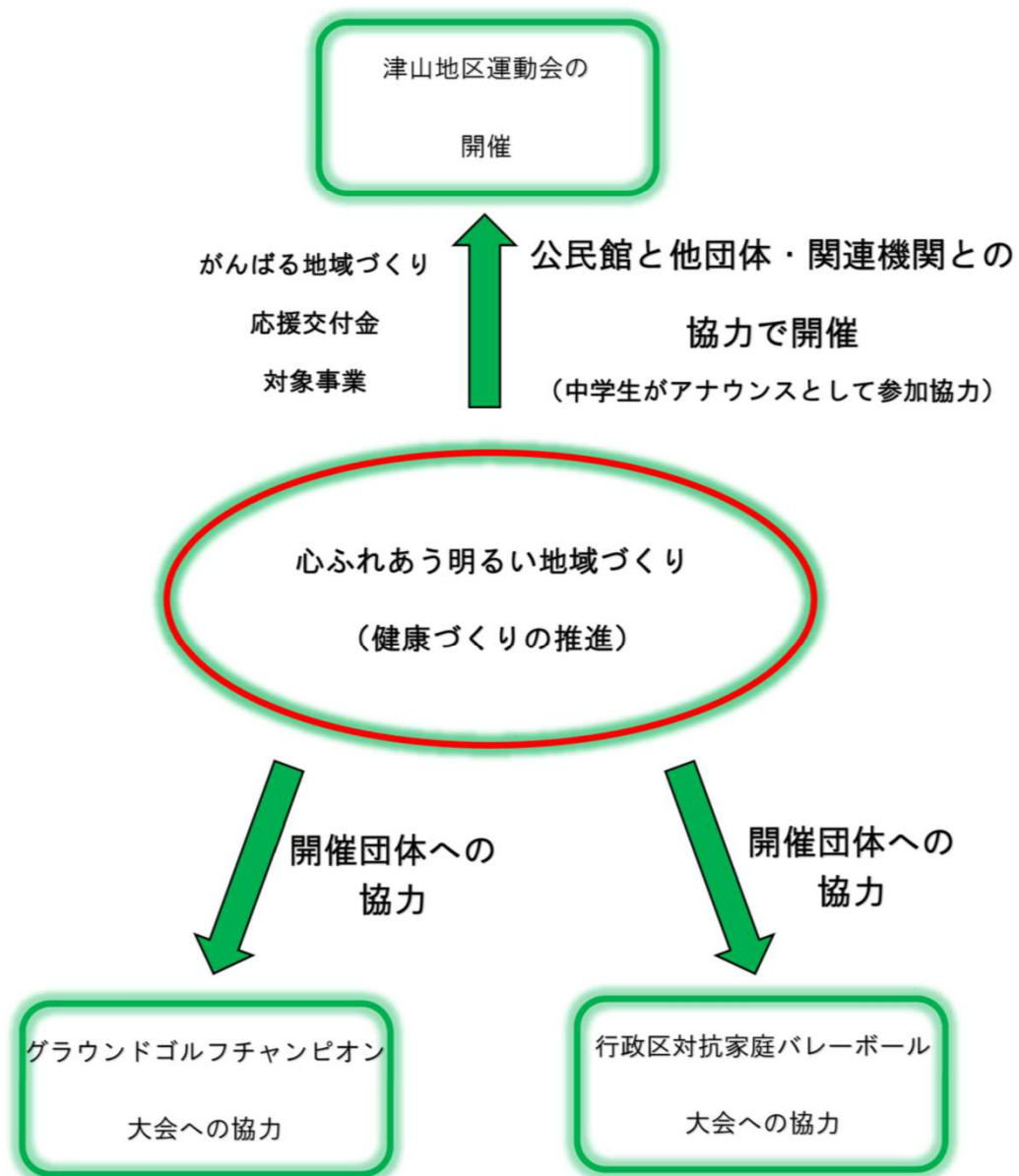
・地域住民の積極的な参加のもと、地域の環境整備の推進を図ります。

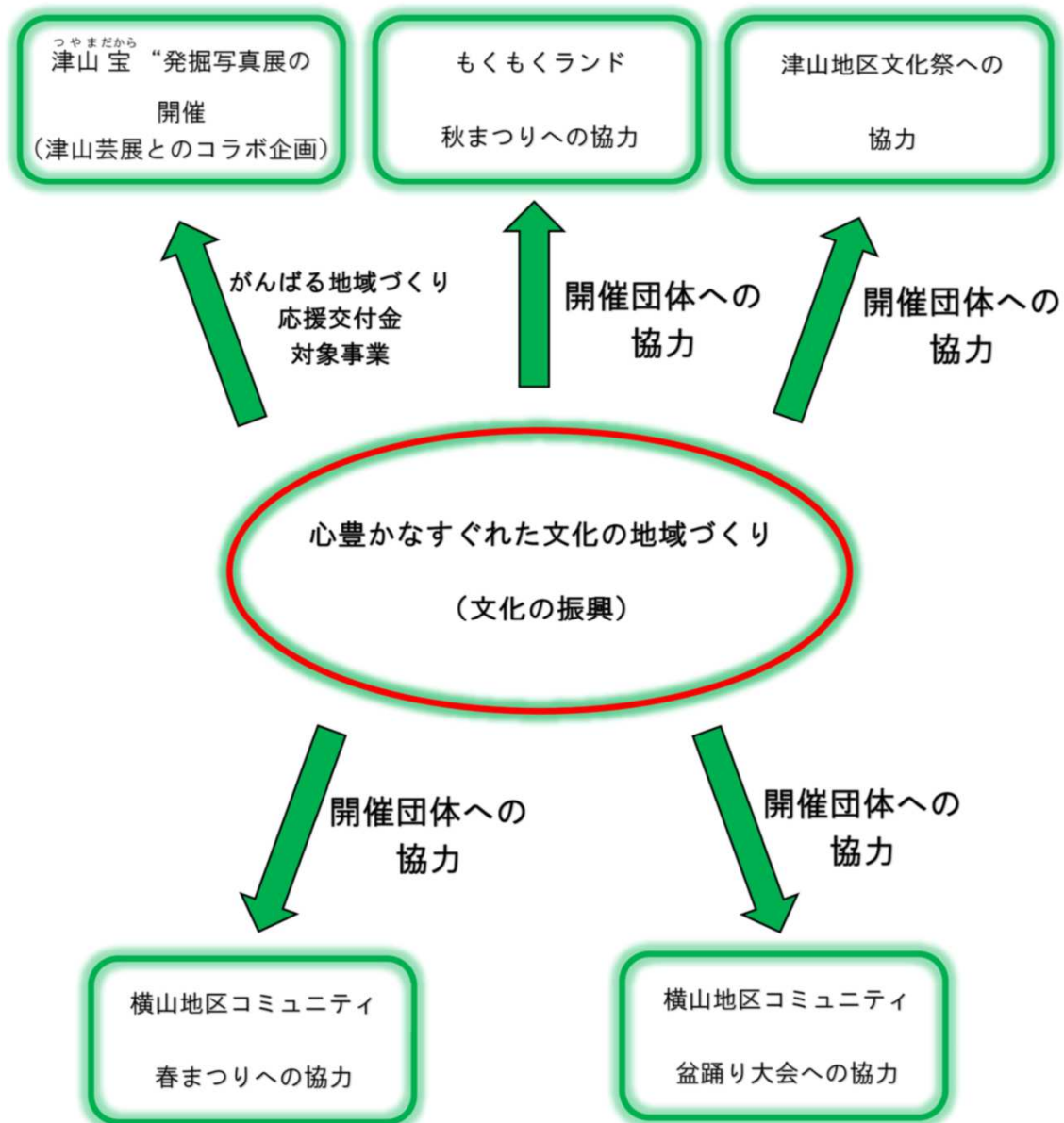
2) その他

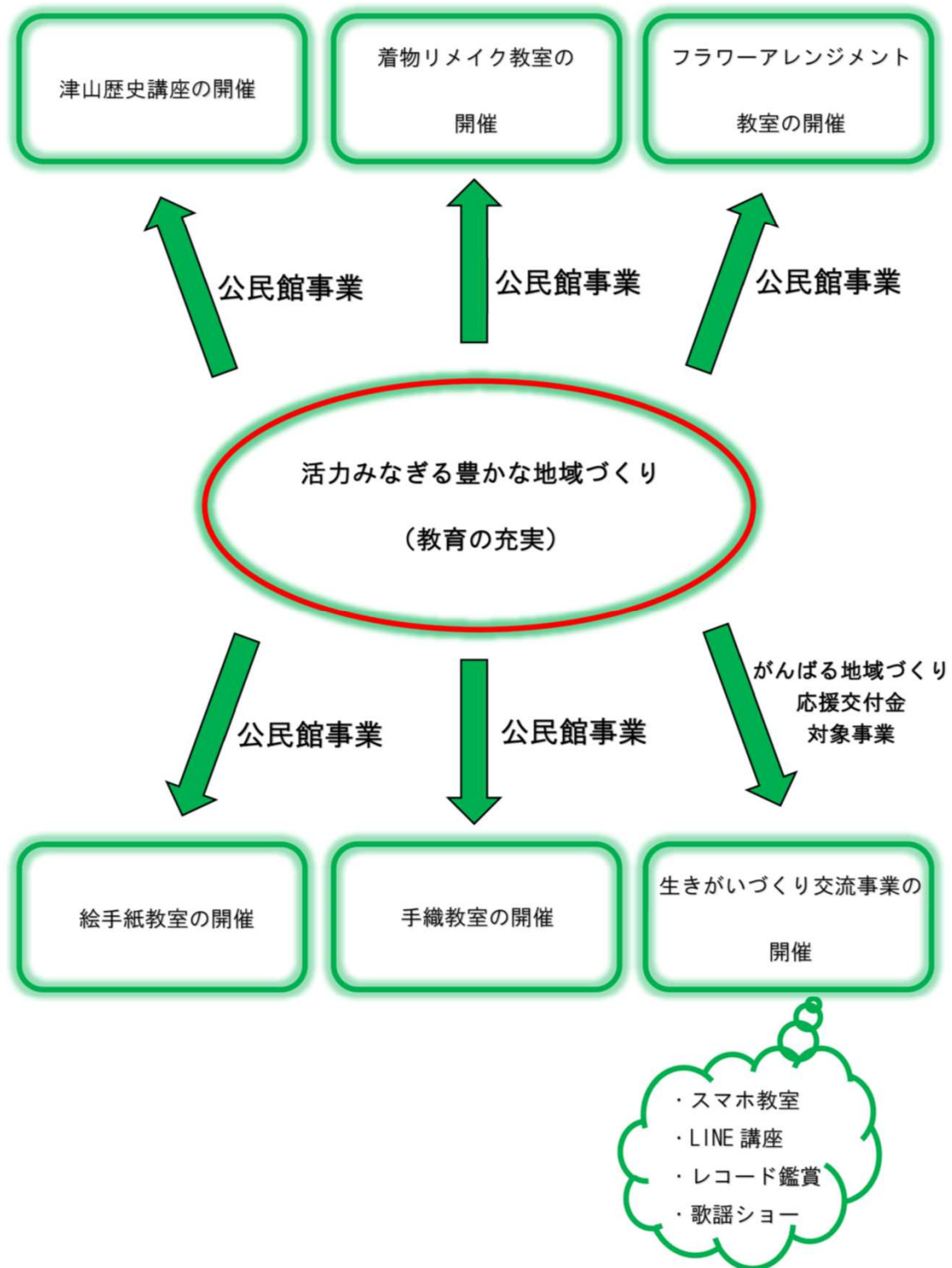
・主体的な地域づくりを各種団体と協力しながら進めていきます。少子高齢化は受け入れなければならない現実の中、行政区ごとの自主的な活動による地域活性化。観光PRによる他の地域からの集客・地域活性化を目指す。

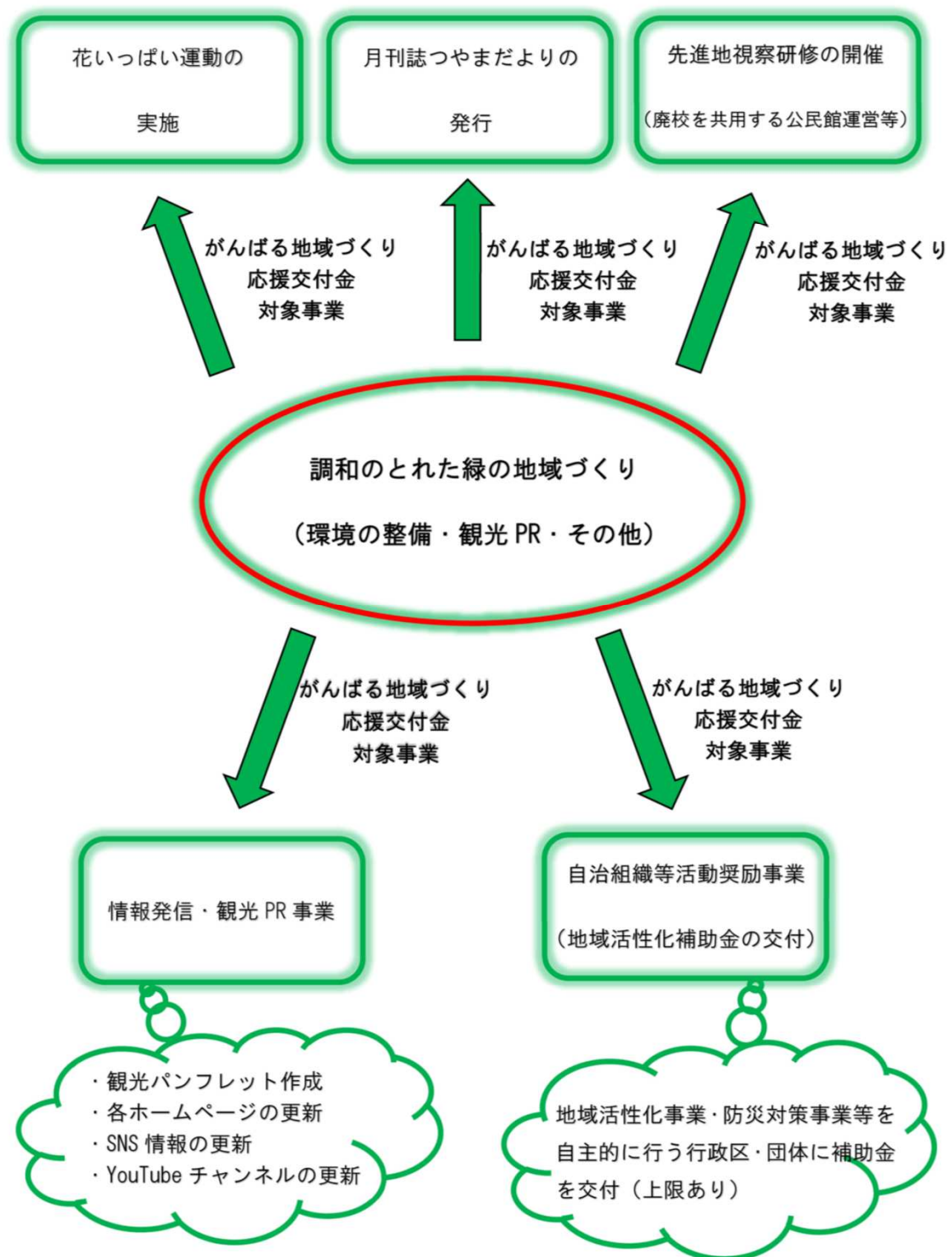
第4章 津山地区地域づくり行動計画











令和6年度の活動資料として

いきいきシニアセミナー



フラワーアレンジメント教室



津山歴史講座



花いっぱい運動



手 織 教 室



絵 手 紙 教 室



着 物 リ メ イ ク 教 室



ス マ ホ 教 室



子ども陶芸教室



津山宝発掘写真展&津山芸展



夏休みこどもまつり



シングルレコード鑑賞会



中級者向け LINE 講座



津山地区運動会



歌謡ショー



クリスマス会



津山地域づくり計画審議会設置要綱

（目的）

第1条 津山地域の望ましい地域づくりの目標を明らかにするために策定した津山地域づくり計画書を審査するため設置するものである。

（所掌事務）

第2条 審議会は、津山地域づくり計画書を審査し、その内容を答申する。

（組織）

第3条 審議会は、各種団体の長等により構成し、津山地域振興会長が任命する。

（任期）

第4条 審議会委員の任期は、目的が達成されたときに解任されるものとする。ただし、欠員が生じたときは、補充することができるものとする。

（会長及び副会長）

第5条 審議会に会長1名及び副会長1名を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときはその職務を代理する。

（会議）

第6条 審議会は会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審議会は、おおむね3回とする。

（1）第1回は、委嘱状の交付及び計画書の説明

（2）第2回は、意見徴収

（3）第3回は、答申

（庶務）

第7条 審議会の庶務は、津山地域振興会事務局において所掌する。

附 則

この要綱は、令和6年12月9日から施行する。

津山地域づくり計画審議会委員名簿

役職名	氏 名	団 体 名
会 長	亀 井 武 宏	津山区長会
副会長	小 橋 三 男	津山町子ども会育成会
委 員	菊 地 君 江	つやま婦人会
委 員	林 三 治	津山文化協会
委 員	佐々木 悦郎	横山地区コミュニティ推進協議会
委 員	須 藤 和 子	津山町ボランティア連絡協議会
委 員	橘 智 法	青少年のための登米市民会議津山支部
委 員	永 井 昭 彦	登米地区交通安全協会津山支部
委 員	佐々木 勝彦	登米市津山総合支所
委 員	阿 部 美 香	登米市津山・豊里地域包括支援センター
委 員	羽 生 芳 恵	登米市社会福祉協議会津山支所

答 申 書

令和7年3月5日

津山地域振興会長 堀 田 耕 平 殿

津山地域づくり計画審議会

会 長 亀 井 武 宏

令和6年12月9日付で諮問された「第3次津山地域づくり計画書」について、慎重に審議した結果、妥当と認めましたので答申します。

なお、計画の推進に当たっては、常に見直しや修正を考慮しながら実施されることを要望します。

「津山地域づくり計画」審議委員会からのご意見一覧

- ❖「レコード鑑賞会」に参加してみて、持ち寄ったレコードを聴きながら昔を懐かしみ語り合う。年代の違う人たちが集まって、それぞれのレコードを聴いていた時代をお互い語り合うのが楽しい。出張カフェみたいなものもあっていいと思う。
- ❖「道の駅津山もくもくランド」の賑わい創出を地元の人たちで何かアクションを起こせないか。
- ❖休校している「旧横山小学校」の活用を考えたいが、現状どうなっているのか？どうやったら使用できるのか知りたい。
- ❖公民館行事やがんばる地域づくり応援交付金事業を行っているが、活動が終わった後のアピールなど、何らかのアクションをしたらどうか。
- ❖津山町ならず空き家が増えている。空き家を使ったアイデアや事業をするための補助金の説明など、そういう場を多く設けられないか。
- ❖人口減少と高齢化ではあるが、70歳まで働く人もいて行事に参加したいが難しい。運動会などのスポーツイベントは、もう体力の問題で参加は出来ない。
- ❖スマホを勉強して、LINEを使った市からの災害・防犯情報等、正確な情報を知りたい。
- ❖着付け教室に興味がある。その時に写真を撮ってSNS等を利用し、家族や親しい人に見てもらう。
- ❖「絵手紙教室」に参加して、出来上がった作品を配食サービスの方に配布してみたい。
- ❖地域ごとの集まり懇親会などの場で、住民のつながる機会が少ない。イベントを通じて参加、集まる場を提供してもらい、つながる機会が数回あるといい。



お問い合わせ
津山地域振興会（津山公民館）
〒986-0402 登米市津山町横山字本町24
TEL0225-69-2234 FAX0225-69-2203